

# ソフトマネジメントによる労働時間削減の好事例

## 取組名 「パーキンソンの法則」に基づく意識改革

### 取り組んだ現場の休暇取得状況

4週6休並びに平日18時までの退勤を目標

<b>取組み概要</b>	<p>・まずは現場内で仕事の時間が膨張しないように取り組む。          全ての業務において責任者が最終的な確認、手直しを行うことを前提とし、各社員の能力値を判断した上で業務分担、期日設定を行う。</p>	<b>取組みの背景・課題</b>	<p>・パーキンソンの法則とは『仕事の量は完成の為に与えられた時間を全て満たすまで膨張する。』という法則である。建物を作る場合、竣工=『完成の為に与えられた時間』になる為、その時間すべてを満たすまで膨張する傾向にある。これは現場内だけでなく社内、施主、設計などの関係者全員が時間を膨張させる要因であることが多い。(設計変更、追加要望等)</p>
<b>取組み詳細</b>	<p>・能力の高い社員に対して：期日を長めに設け、できる限り完成形のものを作らせる。多少の不備には目をつむりできるだけ手直しは行わない。その不備を指摘された際は責任者のミスとして取り扱う。(最終的な責任は取ってもらえる、という意識は分からないことを無駄に考え続ける時間を減らせるため)</p> <p>・経験値の低い社員に対して：期日は短くし、責任者が確認・手直しする時間を長めにする。不備の際の手直しも責任者が行う。完成形は必ず見せ、今後どのようにしたいか覚えられるようにする。また、期日が守られない場合も多い為、期日になったら声を掛ける必要がある。</p> <p>・責任者の業務については自らの能力を理解することでそれぞれの業務にかかる時間を把握する。自身の仕事の週間工程を時間単位で作成し、それを必ず守る。その週間工程には部下のスケジュールも記載し、仕事の進捗確認の声掛けを行うことを忘れないようにする。変更等がある場合は都度修正する。</p>	<b>効果</b>	<p>・責任者が最終的になんとかしてくれると分かると安心でき、チームワークがよくなる。</p>
<b>利点</b>	<p>・最短で完成形の成果物を提出できる。</p>	<b>継続のポイント</b>	<p>・自身で決めた工程を必ず守る。</p>
<b>改善点</b>	<p>・短工期により、与えられた時間が少ない場合は適用が厳しい。          ・責任者の負担は大きい。          ・大規模現場においては全ての手直しを責任者が行うことは厳しい。</p>	<b>市販ソフト</b>	<p>・特になし</p>
<b>参考資料等</b>	<p>・特になし</p>	<b>適用条件等</b>	<p>・多少工期に余裕がある小規模現場</p>
<b>検索用分類</b>	<p>■意識改革 □業務削減 □効率化 ■人材育成・教育 □ワークシェア          ■適正工期 □休暇 □ワークライフバランス □その他</p>		